



2024年4月26日

各 位

会 社 名 野崎印刷紙業株式会社
代表者名 代表取締役社長 野崎 隆男
(コード番号:7919 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理部長 仲本 和宏
(TEL : 075-441-6965)

資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について

当社は、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け経営幹部による議論を重ねており、本日開催の取締役会において当社の現状を評価・分析し、改善に向けた方針を決議致しましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

記

1. 現状分析

当社は、付加価値の低い商品販売に終始し過当競争を続けてきた結果、収益性の低下を招き、PBRは継続的に1倍を下回っておりました。そのため、前3か年はコスト低減の見込めない製品について販売を撤退・中止するとともに、今後も需要が見込めるサステナブル素材として有望な紙工品の拡販や、脱炭素社会へ向けて、全工場におけるラベル印刷機やオフセット印刷機のUVランプのLED化を完了するなど、付加価値や生産効率を向上させる装置や設備の拡充に努めてまいりました。その結果、収益性が改善し2023年度のROE実績は、当社想定 of 株主資本コスト(7.5%~9%)を上回る15%を確保しております。(うち、繰延税金資産の計上によるROEへの影響は1.7%)

[連結業績推移]

	80期 2020年3月期	81期 2021年3月期	82期 2022年3月期	83期 2023年3月期	84期 2024年3月期
売上高(百万円)	14,804	13,105	13,083	13,437	14,157
営業利益(百万円)	36	87	133	332	621
経常利益(百万円)	46	123	143	374	667
当期純利益(百万円)	-616	80	10	253	573
ROE	-16.9%	2.4%	0.3%	7.3%	15.0%
PBR(倍)	0.57	0.71	0.56	0.65	0.66

2. 今後の方針

持続的な企業価値向上に向けての当社方針としましては、本日発表の中期経営計画「nozaki2024/2026“SHINKA”」の戦略遂行により、ROEの向上による「エクイティ・スプレッドの拡大」と、当社の成長性に対する適切な市場評価を獲得することで、結果としての「PBR1倍超の早期実現」を目指します。

また、中期経営計画におきましては、企業価値の向上をグループ全体の課題と認識して取り組むために、「ROE」と「EPS成長率」を当社のKPIに設定し、従業員への理解・浸透を図ってまいります。当社の強みである可変印字や加飾技術の更なる向上や、産学連携の共同開発で生まれた秘匿性の高いオリジナル2次元コードを含むDX事業に投資を集中させるとともに、人への投資、適切な資本政策を遂行いたします。

以上

資本コストや株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

[2024年4月26日]

東証スタンダード市場 7919
野崎印刷紙業株式会社

INDEX

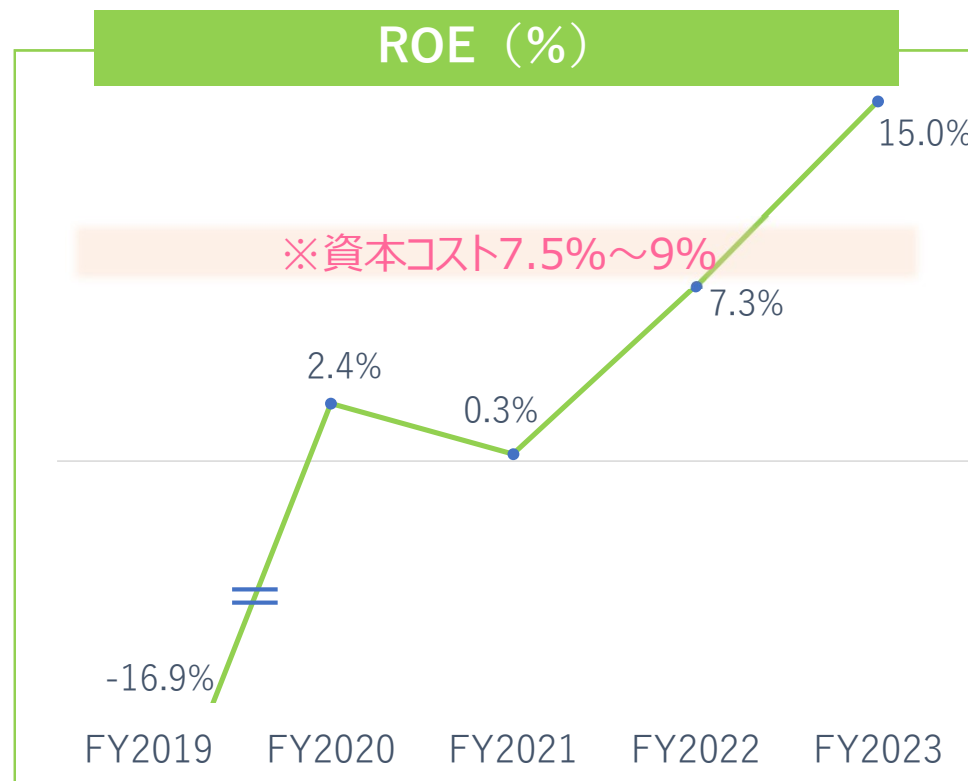
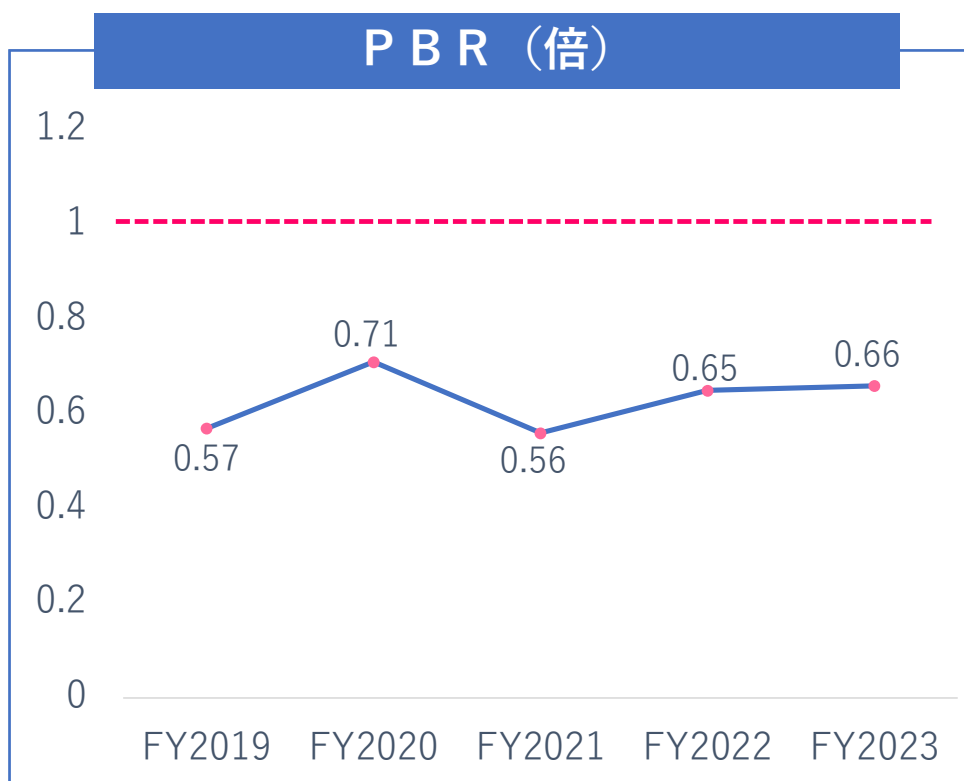
- 現状分析
 - ・PBRとROE
 - ・ROEの3要素分析
 - ・市場評価

- 基本方針

- 企業価値向上に向けた取り組み
 - ・中期経営計画2024/2026
 - ・経営資源の配分
 - ・株主還元
 - ・IRの強化

現状分析 PBRとROE

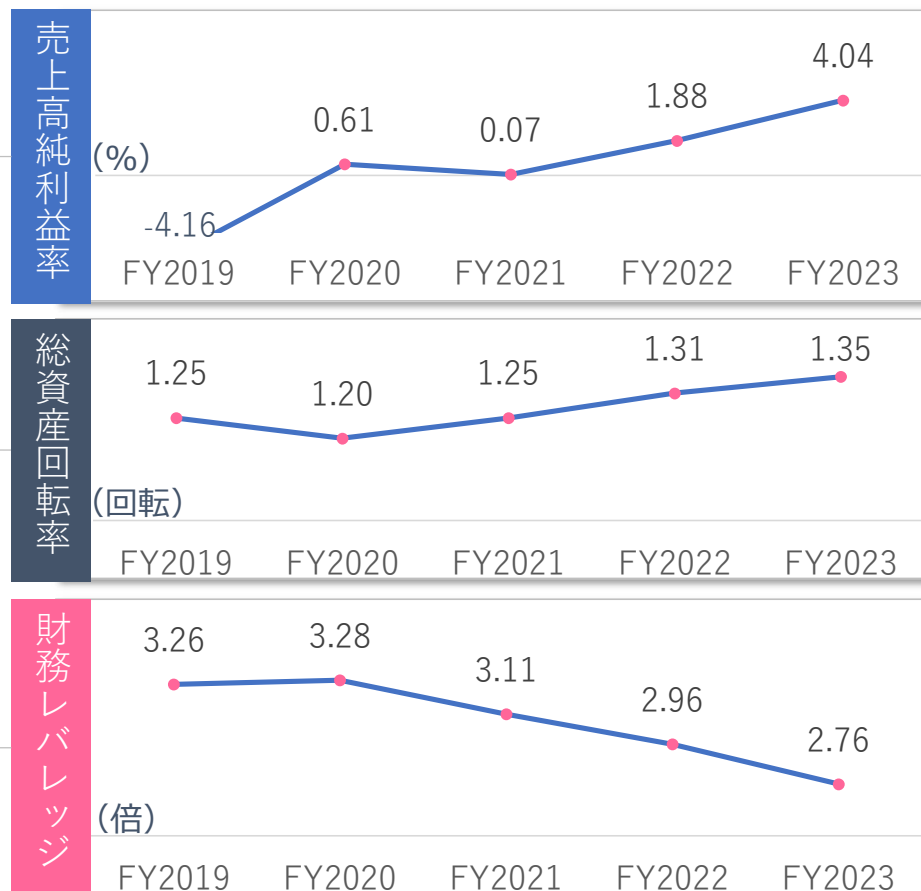
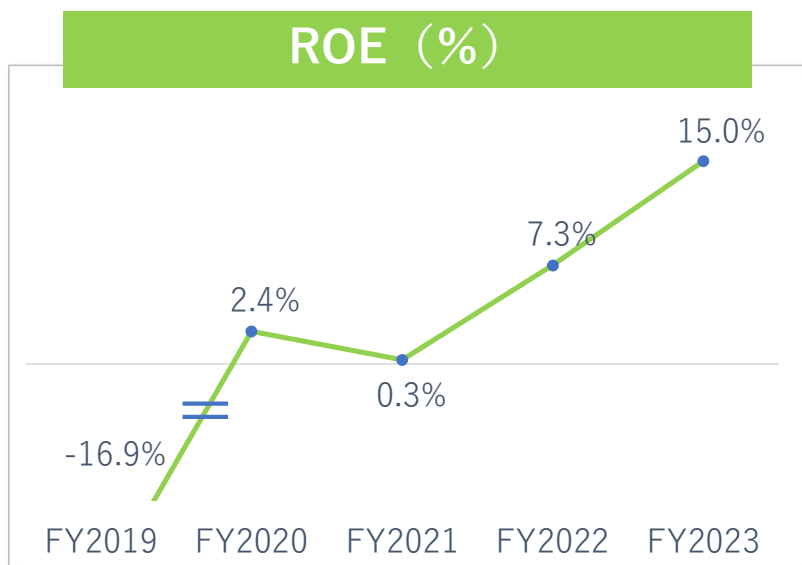
近年はPBR 1 倍を下回る状況が続いており、今後想定される金利上昇も視野に入れたROEの改善が必須
直近のROE実績は2024年3月期において当社想定株主資本コスト(7.5%~9%)を上回る15%を確保
(うち、繰延税金資産の計上によるROEへの影響は1.7%)



※CAPM(当社基準)による株主資本コスト

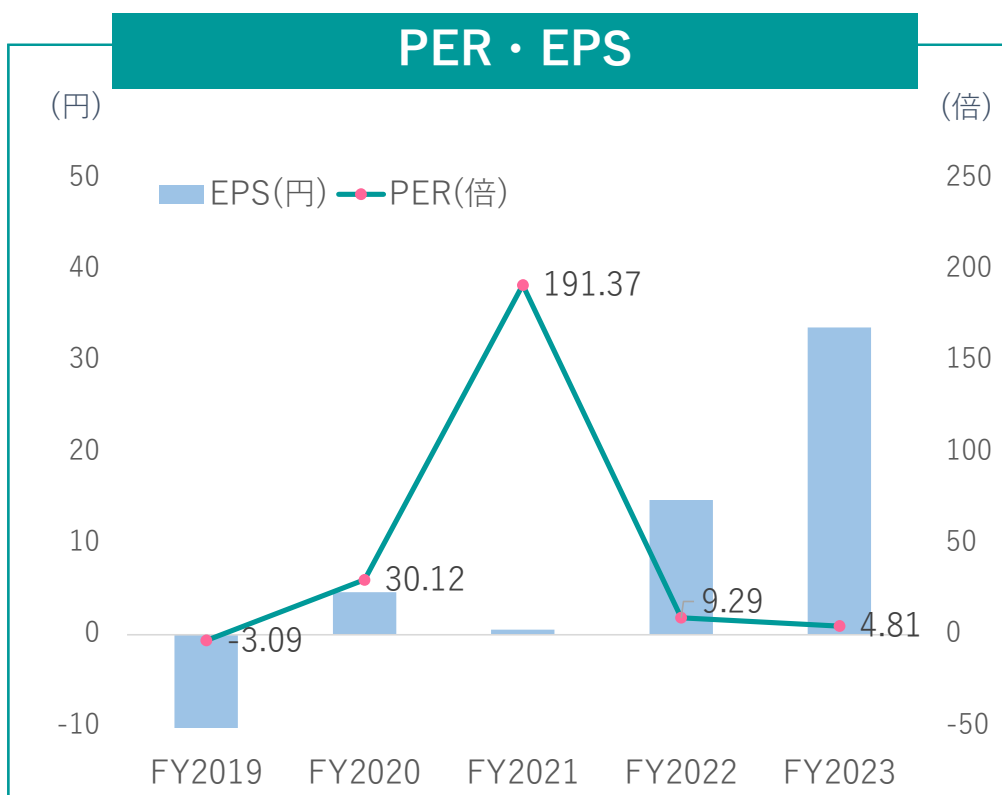
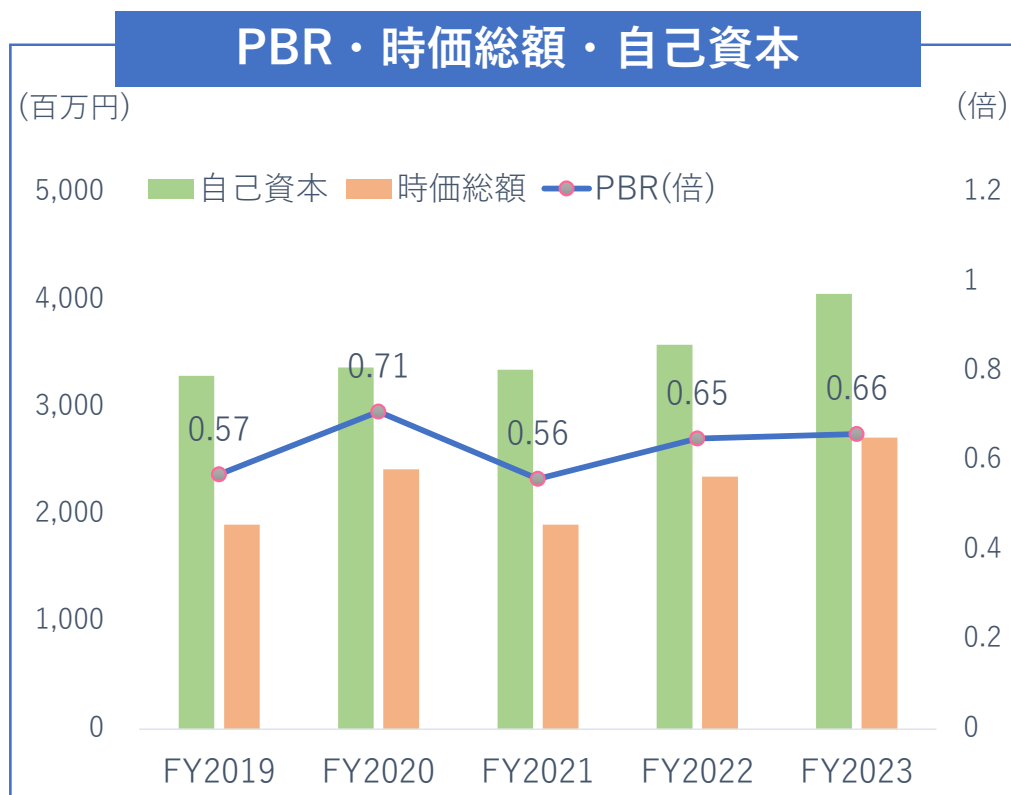
現状分析 ROEの3要素分析

資本収益性については、利益の変動が大きく収益性の強化と安定した利益確保が必要
総資産回転率は高い水準にあり、財務レバレッジについては適正な自己資本水準を維持している



現状分析 市場評価

PBRは継続して1倍を下回っており、PERの構成要素であるEPS(一株あたり純利益)の成長が、株価には十分に反映されていない状況であり、市場評価獲得のためには収益性強化とともに非財務施策の強化が不可欠



基本方針

- ROE向上による「エクイティ・スプレッドの拡大」とPERの向上により、結果としての「PBR 1 倍超」を目指す
- 企業価値向上のための指標として「ROE」と「EPS成長率」をKPIに設定
- 中期経営計画の戦略遂行を通じて資本収益性を高め、当社の成長性に対する適切な市場評価を得る

【PBR・ROE・PERの関係】

PBR

=

ROE

×

PER
(株価/ EPS)

PBR1倍超
早期実現

成長戦略による収益性の向上
資産効率の向上と適正な資本政策

成長戦略による中長期的な利益成長
IR強化やESG等の非財務施策の強化

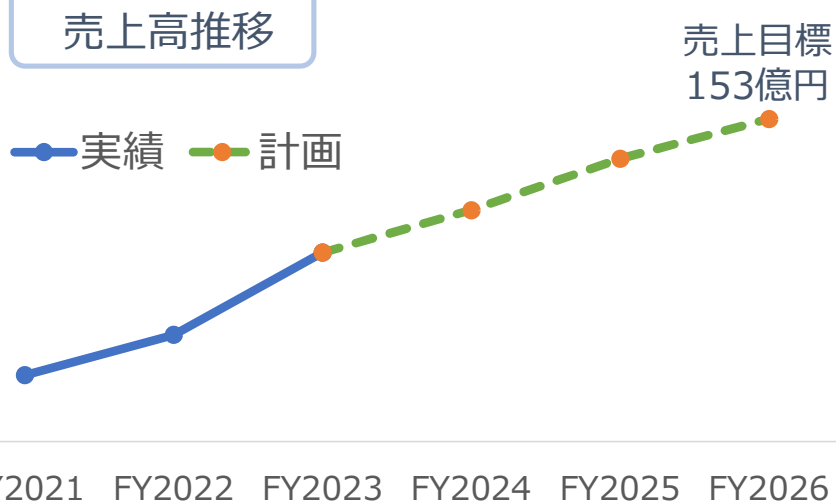
企業価値向上に向けた取り組み 中期経営計画2024/2026

成長戦略

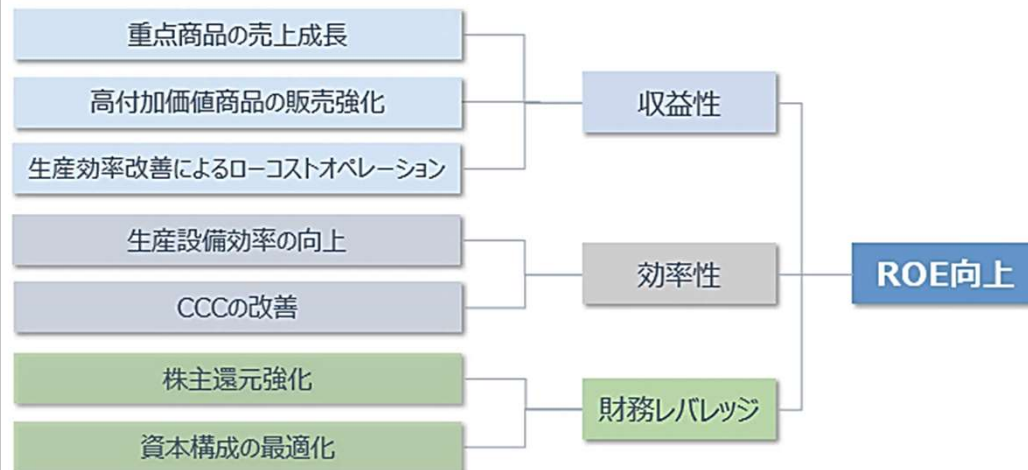
- デジタル活用と広域営業体制の確立により重点分野の成長を実現
- 高付加価値の創出と生産効率の改善により営業利益率を安定確保
- 従業員の健康増進と人材マネジメントで労働生産性とエンゲージメントの向上を図る

nozaki2024/2026 “SHINKA”

売上高推移

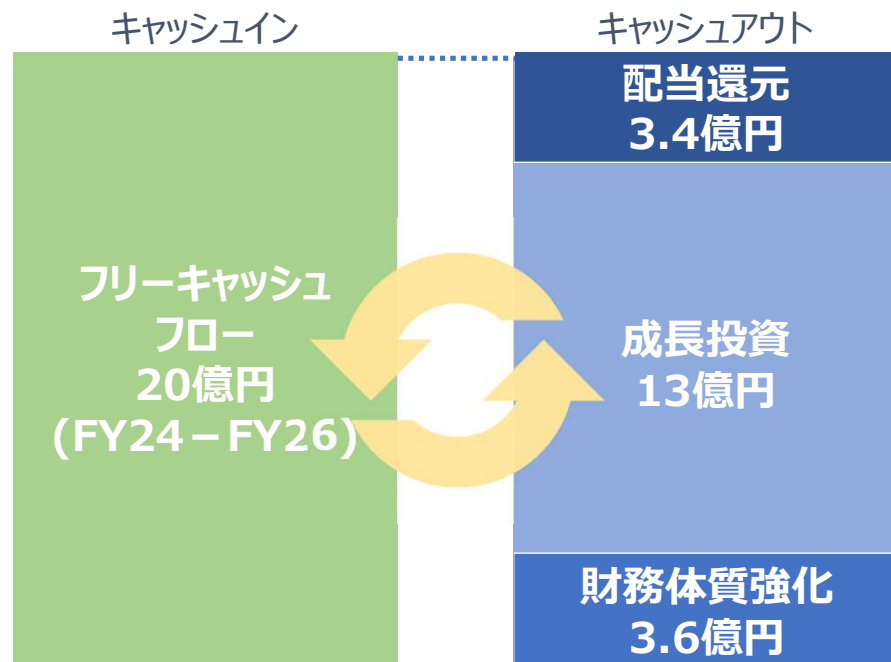


ROE逆ツリー



企業価値向上に向けた取り組み 経営資源の配分

■ キャッシュアロケーション



01 配当還元

- ・配当性向20%以上、DOE1.5%を下限

02 成長投資

- ・重点商品拡販のための生産設備増強
- ・生産拠点の高度化
- ・研究開発投資
- ・人的資本投資
- ・IT投資

03 財務体質強化

- ・有利子負債の返済等
- ・更なる成長への投資源泉

キャッシュイン

- CCCの短縮を図り運転資本を効率化
- 政策保有株の縮減をすすめる

キャッシュアウト

- 利益成長による配当額の増加
- 株主還元と資本効率を重視し、投資機会の状況を判断しながら成長投資を実行

企業価値向上に向けた取り組み 株主還元

配当方針

- ・ 安定的な配当を継続して行うとともに、利益成長による配当額増加を目指す
- ・ DOE1.5%を下限とし、連結配当性向20%以上を目標とする
- ・ 基礎的な収益力やキャッシュ・フローの状況等の事業環境を勘案のうえ決定する

【配当推移】	FY2019	FY2020	FY2021	FY2022	FY2023
売上高(百万円)	14,804	13,105	13,083	13,437	14,157
当期純利益(百万円)	-616	80	10	253	573
EPS(一株あたり純利益)(円)	-35.91	4.68	0.58	14.74	33.65
配当性向	—	42.73%	344.82%	20.35%	※14.85%
DOE(株主資本配当率)	0.94%	1.03%	1.02%	1.48%	※2.22%

※予定

企業価値向上に向けた取り組み IRの強化

IRによる情報の非対称性解消とPRによる潜在投資家への認知度向上により資本コストの低減を図る

IR

タイムリーな情報提供と情報開示の拡充

- ・決算説明書類
- ・IR通信
- ・IRサイトの充実



PR

企業情報や新製品情報など認知度の向上

- ・SNS
- ・地域創生



IR施策の社内フィードバック

- ・経営施策と目的意識の共有
- ・IR活動の円滑化



自社WEBサイト

自社の考えや強みを発信する最適ツールと位置づけ
株価の上昇と認知度の向上を効果的にアシスト



nozaki

野崎印刷紙業株式会社

本資料に記載されている将来の数値は、開示時点で入手可能な情報および合理的であると当社が判断する一定の前提に基づくものであり、様々なリスク要因や不確実要因により実際の結果と異なる可能性があります。本資料に関連して発生した金銭的あるいは非金銭的な損害に対しては、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

